

【新年度予算に盛り込まれた地球温暖化対策費について

地球温暖化対策は、まずもって、人類の全英知を結集し、取り組むべき重要課題であると思われる。経産省は、ESCO事業を推奨しているが、環境省は、2017年に「グリーンボンドガイドライン」を策定し、推奨している。グリーンボンドは、2006年、世界において、国連責任投資原則（UNPRI）が設立されたことからはじまった。持続可能な発展を、世界の最優先課題とし、その実現に当たり、投資家や金融市場に対し、持続可能性問題が及ぼす影響を理解してもらうとともに、国連が支持する責任投資原則（PRI）が、環境、社会、ガバナンス（ESG）課題と金融業界の関係に光をあて、安定的で持続可能な金融システム構築に寄与するフレームワークを提供してきた。

現在、わが国では、ゼロ金利とキャッシュレス化の時代の波を受け、地方の金融機関が大きな影響を受けている。こういった中、グリーンボンドは、地域金融機関から出資を募り、自治体の枠を超え、地域ごとの環境についての共通課題にグロスで対応することによって、単価の低減

【児童相談所について

民生委員・児童委員さんから、金沢の児童相談所の所長のお話を聞いてみたいといった声や、どのような考え方でお仕事をされているのか、知りたいといった声をお聞きした。要としての児童相談所の所長ではありますが、民生委員児童委員の皆さんの力や思いがしっかりとつながっていることは極めて重要なことだと思われます。大変お忙しい所長さんであることは重々承知ではありますが、市内の民生委員児童委員さんと、ひざを突き合わせて意見交換される場を持たれてみてはいかがか。多



【大徳地区の第3小学校について

新年度予算案に大徳小学校に暫定校舎を設置するという案が示されたが、大徳地区に小学校を新設すると言われた27年度の議会答弁と異なる案に至った経緯についてお尋ねする。

また、詳細な人口動態予測に基づいての計画であるとお聞きしたが、例えば、中央小学校の計画の際は、どのような人口動態予測をされていたのか。1000人規模を見越していたけれど、結果として、そうはならなかった。逆に、大徳地区においても、このたびの人口動態予測を超える人口流入等があった場合、計画の変更はありうるのか。駅西地区は、新副都心として、これからも発展する余地は大きく、予測を超えることも

◎3月議会のその他の質問

市営緑住宅で建設されているA-7棟の色について／昨年2月から実施されているごみ袋有料化施策について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

に努めるとお聞きしている。中央都市圏の発想ではないが、人口減少社会の進展において、自治体の枠を超えて、地域が手を結び、温暖化対策に向かっていく。そのような観点を踏まえれば、中枢中核市である金沢市もグリーンボンド事業に、参画していくことは非常に価値があると思われるが、いかがお考えか。

〔市長の答弁〕

環境省が採択したグリーンボンド事業は、広域で公共施設のLED化を実施しようというもので、民間の資金を活用することによる財政負担の平準化、スケールメリットなどが利点であると聞いているが、LED照明の導入手法には、市単独事業による整備、さらにはPFI及び本市も既に取り組んでいるESCO事業などの民間資金を活用した整備手法も考えられることから、来年度実施する調査の中で適切な整備手法を検討をしていく。

くの経験を踏まえた所長との場の共有は、各民生委員さんがこれまで以上に誇りを持って仕事に取り組まれるきっかけになるのではないか。

〔市長の答弁〕

児童虐待の早期発見、早期対応のため、日ごろから子どもとかわることの多い民生委員・児童委員には、相談支援や見守りなどを行っていただいているところである。私も、さまざまな会合や地域活動で、民生委員・児童委員の方と意見交換をさせていただいている。虐待の防止は、行政のみならず、地域社会全体で取り組むべき課題であり、引き続き、さまざまな機会を捉えて相互の連携を図ってまいりたい。

十分に考えられるが如何か。

〔教育長の答弁〕

改めて詳細な推計を行ったところ、大徳小学校については、今後数年間は一時的に増加するが、その後は減少し、適正規模で推移する見通しが明らかになったことから、暫定校舎を設置することが適切と判断した。将来的にさまざまな要因等によって新たな規模適正化の必要が生じた場合には、状況に応じて適切に対応してまいりたい。



金沢市議会議員

くまのもりお通信

Vol.07
2019.Mar

2月25日に、いしかわ若手議員の会のメンバー5名と、石川県肢体不自由児協会さん、ヘルプマークDEエンジョイ石川の皆さんで、ヘルプマークとHELPカードの違いを明記した周知啓発ポスターの作成等を求める知事宛の要望書を県健康福祉部長に提出してきました。福祉社会の充実のためこれからもコツコツと取り組んでまいります。

皆様からのご意見、心よりお待ちしております。

✉ info@kumanomorio.com

くまのもりお事務所

TEL.076-256-3757 FAX.076-256-3836

金沢市みどり2-6-2 〈自宅〉金沢市松村7丁目36-13

発行／金沢市議会議員 熊野盛夫

金沢市役所〈創生かなざわ〉

TEL.076-220-2448 FAX.076-223-0116

金沢市広坂1-1-1

HP随時更新!→ <http://kumanomorio.com>



何のために議員になったのか？

1期目の任期も残すところわずかとなりました。おかげさまで4年間すべての議会において、質問をさせていただきました。今号は、平成30年度9月議会、12月議会、3月議会の質問をまとめさせていただきました。ぜひともご一読頂ますようお願い申し上げます。

ある方が尋ねられました。「何のために議員になったのか？市民の声を議会に届けるためじゃないのか？」その声は、私のみならず、議員にとって、重い一言です。選挙の際、私にご投票いただいた方はもちろんのこと、立候補して落選された方々の気持ちを慮っても、やはり、しっかりと議会質問をしなければなりません。議会を通して、市政を動かし、また、行政をチェックしていくことは他でもない議員の務めであるからです。これからも積極的に質問し、議会活動に取り組んでいく所存です。皆様からのご意見、ご要望等、お気軽にお寄せください。初心を忘れずコツコツと頑張ります。



金沢市議会議員 熊野盛夫

【消防団員の新規加入の促進策について

現状、消防団にはしご演技のためのセレモニー参加依頼がふえてきている。セレモニーのための加賀鷹分団員と消防本来の活動の分団員を分けて募集することも一案ではないか。仕事柄、消防活動が無理でも、はしご登りなどを見て憧れを抱いている若者もいるかもしれません。あるいは、公務員であっても、週末や夜の練習に限定されたはしご登りであれば参加できると思われます。異常気象が恒常化して、雨、風、日差しが強烈になってきて消防団の出動回数がふえている中、新規分団員の獲得は必要です。加賀鷹分団員と消防分団員の分離募集も踏まえ、新たな分団員獲得策を求めます。



〔市長の答弁〕

- ・これまでも、年額報酬の導入、装備の充実など処遇面の改善に取り組み、学生団員や勤務地団員の採用を進めてきた。
- ・昨年度、導入した機能別団員制度で、100名を超えて加入し、総消防団員数は着実に増加しており、一定の効果があらわれている。
- ・本市の消防団は、団員全員が加賀とびはしご登り保存会に所属し、藩制時代からの長い歴史の中で培われた加賀鷹の心意気を活動に生かしている。はしご登りを分団員全員で支えているという気概が最も大切な団結力や結束力の強化にもつながっていると聞きする。ゆえに分離募集は難しい。

ヘルプカードとヘルプマークについて

昨年の9月定例月議会において、私が求めたヘルプマークの積極的な導入と周知を求める質問に対し、早速、市はHPの福祉マークのコーナーにて掲載し、石川県肢体不自由児協会さんはヘルプカードにヘルプマークのロゴを入れ込んだ新しい形のヘルプカードを作成されました。まず、御対応に感謝申し上げます。しかし、この間、現実としてヘルプカードもヘルプマークも周知が足りないという現状を石川県肢体不自由児協会さんやヘルプマークの周知活動を行う市民グループの方からお聞きしました。少しでも両者の周知と理解を求めて、先月8月23日に県内の市町の議員を中心に地域福祉の向上を目的の1つに活動しているいしかわ若手議員の会が主催してシンポジウムが開催されました。シンポジウムではヘルプマークの提案者である前東京都議会議員の山加朱美さんの基調講演から始まり、冒頭、立派な金沢駅についてヘルプマークの啓発ポスターが一枚もなかったことに触れ、観光都市としてしっかり啓発に取り組んでほしいと言われました。そして、ヘルプマークは互いの配慮のマークであり、思いやりの心を育むことにもつながるとおっしゃられ、昨年、JISマークに選定されたことに触れ、これは日本の福祉のマークの誕生であり、岡山発の点字ブロックが世界のスタンダードになったように、それに続き、ヘルプマークも日本発の世界の福祉マークとして育ってほしいとお話しにられました。そして、ヘルプマークは福祉がテーマであると同時に、それらが周知されなければ意味がない。すなわち社会の問題でもあると御指摘され、特に各種交通機関、駅などでの周知が重要で、多くの人が集まる観光地では当然のことながら広く知られている必要があると言われました。また、災害時においても重要な意味をなすことから、消防や医療関係者への周知の重要性にも触れました。現在、35の都道府県を含む自治体に広がっております。金

児童相談所における働き方改革について

ワークライフバランスの改善による生産性の向上、そして、それは家族間コミュニケーションの増大、つまり家族の笑顔の実現につながっていくのではないかと考えられます。もちろん家族といってもいろいろな形があります。そのように考えると、家族の1つの大きな危機に対応するための児童相談所の役割は、逆の意味で非常に大きく、働き方改革のかなめになるのではないかと考えられますが、お考えをお聞かせいたします。

それでは、具体的に児童相談所における働き方改革はどのように実現していくべきでしょうか。まず、個別に仕事を抱え込まないことが重要です。クラウド化による情報共有です。このことは、7月に開催された金沢市働き方改革講演会において、アール・ビー・コントロールズ株式会社の谷口宗治郎相談役が、デザインや設計のような専門部署においてもクラウド化による情報共有化は進められるとお話いただきました。また、その際、報告書の作成のためのメモの清書なども時間の無駄で、メモをそのままシェアしても何の問題もないとお話しされておりました。翻って、これは問題が個別的で、かつ専門的であっても、クラウド化、そ

◎9月議会のその他の質問

石川県の砂防課が土砂災害の危険性が高まったときに発信される緊急速報メールの多言語表記について
金沢かがやきブランドについて／キャッシュレス決済について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

沢市が観光都市として多くの人が内外から訪れる現在、ヘルプマーク、ヘルプカードについて、さらなる周知が必要ではないかと考えます。お考えをお聞かせください。

また、シンポジウムでは、ヘルプカード作成時の石川県肢体不自由児・者父母の会の親御さんから、ヘルプマークもヘルプカードも思いは同じはずとして、カード作成時の私たちの気持ちも踏まえ、マークとカードが両輪のように広く周知されることを求められました。

以上、ヘルプマーク提案者の山加氏のお気持ち、シンポジウム御参加の皆様に加えて、ヘルプカードを作成された親の会の皆様の思いも添えて質問をさせていただきました。



〔市長の答弁〕

いただいた御提案をしっかり受けとめながら、機会を捉えて関係機関にも働きかけたい。

して現場におけるタブレット導入による瞬時の情報の共有化によって、かなり事務作業の簡略化も含め働き方改革につながるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。御意見を伺います。

〔市長の答弁〕

- ・児童相談所に加え、消防局や市立病院なども市民の安全確保のため24時間体制で日々の業務に当たっており、これらの職場についても、引き続き人員体制、勤務体制、職場環境等の面でも十分配慮をしていかなければいけない。
- ・国の動向に注視しながら、しっかりと適応をしていきたい。
- ・本市の児童相談所は、現在、福祉保健総合オンラインシステムにより、その情報を共有しながら相談業務や対応等に当たっている。御提案いただいたクラウド化、さらにはタブレットの導入については、今、金沢市全体でICT活用推進計画の策定に取り組んでいるところで、その推進計画策定の中で研究していきたい。

平成30年度 金沢市議会 12月定例月議会

平成30年12月10日(月)～25日(火)

シェアリングエコノミーシティ宣言について

ICT革命による世界の潮流は、個々の技術水準の向上、生産性の向上はもちろんのこと、もう1つ大きな流れをつくっている。それがシェアリングエコノミー社会の構築。シェアリングエコノミーとは物の共有を意味し、これまでの物の所有の概念を変え、経済構造も変え、人々の意識も大きく変えるインパクトがあると言われている。このシェアリングエコノミーについての考えは？

金沢市がシェアリングエコノミーシティ宣言をして、既存のアプリに加え、多くの市民や金沢市に訪れている方が利用できるプラットフォームを独自に企画、開設し、人・モノ・サービスのやりとりができるようになれば、交通や福祉、介護などの市民の個々のニーズの見える化が図られ、行政で全て対応するのではなく、それに応えることができる市民の力を積極的にかりて、相互扶助の金沢市、優し



宿泊税の使途について

水産庁の要請を受けてズワイガニの資源量の調査をしている日本海区水産研究所の調査結果によると、能登沖から山陰沖までの日本海海域において3年後にズワイガニの生息数が半減すると予測されました。これは、驚異の予測です。新聞では、カニ減少は経済への影響も懸念される。備えや対策を考えないといけないと本市農林水産局長のコメントも掲載されておりました。観光客はもちろんのこと、市民・県民にとっても冬の食卓の大きな楽しみであるズワイガニ、香箱ガニでありますから、こ

ツエーゲン金沢について

ツエーゲン金沢のファンの皆様から、試合の後の交通渋滞緩和について取り組んでほしいとの声をお聞きしております。例えば、お隣、富山のカターレ富山の試合会場の富山県総合陸上競技場では、警備員さんがバランスよく配置され、渋滞はあっても、この警備員さんの指示に従っていれば、いずれは出られると安心できることでした。石川県西部緑地公園の駐車場では、シャトルバス周辺に約6名の警備員さんが集中していますが、他の駐車場で配置はゼロ、渋滞中のいらひらはなかなか解消されないとの

◎12月議会のその他の質問

外国人の移住と留学生に対する金沢市への就職あっせんについて
金沢マラソンのコース沿い、あるいはコースになっている商店街などの優先枠設定について／大徳地区の第3小学校の計画の進捗状況について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

さあふれる金沢市を構築できるのではないかと

〔市長の答弁〕

- ・物の所有形態が大きく変化し、利用者にとっては財やサービスの購入、保有に係る費用が減少するほか、自動車交通をめぐる環境が大きく変わるということも想定されるなど、市民生活や地域社会の利便性、効率性の向上に大きく資するものだと思っている。
- ・都市宣言はともかく、その動向については注視していきたい。本市としてどんなことができるのか、常にアンテナを張りめぐらして、情報をきちんと把握していきたい。御提案の市独自のアプリ開発については、まだ整理すべき課題も多い。ただ、ICTの活用は、大変大切なことだと思っている。新産業創出ビジョンの中でも、交通不便地域の移動手段の確保にAI技術の活用を掲げており、先進事例を注視しながら、今後検討をしていきたい。

の対策にも宿泊税を充てることも宿泊税の意図に沿うのでは？

〔市長の答弁〕

この減少予測を受け、今後、生産、流通、飲食、観光などの関係者を交え対応を検討していきたい。現時点では具体的な対策が決まっていなくても、宿泊税を充当することは難しいのではないかと

ことでした。そして、現在、シャトルバスの発着地点は金沢駅のみですが、金沢駅はビジターチームの応援団にはうれしいことと思われすが、例えば、野々市市庁舎や白山市庁舎などからもシャトルバスを運行すれば、マイカーでの来場者が減り、渋滞の緩和策になるのではないかと考えられます。御来場のお客様へのアンケート等でその方向性を探ってみてはいかがでしょうか。こういったところでも連携中枢都市圏のつながりを生かしていただきたい。

〔市長の答弁〕

現在、ツエーゲン金沢のほうでシャトルバスの運行を行っている。石川県農業会館等での臨時駐車場の設置などにより、駅だけではなくて分散化を図ったところ。御提案をいただいた野々市庁舎、白山市庁舎についても、渋滞緩和策の一環として実施をすることができないか、ツエーゲン金沢にも働きかけていく。